

## 紙芝居に関する保育者の意識と活用状況

野 崎 真 琴  
小 島 千恵子  
髻 櫛 久美子  
水 落 洋 志

### 1. はじめに

本学の紙芝居プロジェクトでは、2005年より、「保育のなかの紙芝居」をテーマに、まず歴史的視点から研究に取り組んだ。紙芝居は、第2次世界大戦中には国策紙芝居として、子どもだけでなく大人向けのメディアとして活用され、戦後も一時大流行を博したが、テレビなどの普及により次第に人々の前から消えていった。さらに1967年に出された文部省第一次教材整備10か年計画により、小学校での紙芝居は備品から消耗品に位置付けを変更されたことも影響し、小学校以上の教育の中では紙芝居がほとんど用いられなくなった<sup>1)</sup>。

ところが、現代でも保育現場においては紙芝居が活用され続けており、このことは、保育における紙芝居活用の効果や意義が、保育現場において認められていることを示唆している。しかし、保育現場で紙芝居が実際にどのように活用されているかについての実態調査や研究は従来見られなかった。この点に関して、本紙芝居プロジェクトでは2010年に、保育現場における紙芝居の活用状況について、愛知県下の幼稚園及び保育所を対象にアンケート調査を実施した。この調査からは、紙芝居がほとんどの幼稚園及び保育所で活用されていることが明らかとなったが、紙芝居の舞台の使用が少ないことや、紙芝居を演じる際に注意していることの調査結果から、紙芝居の特性を十分捉えた活用がなされていないのではないかとということが考察された<sup>2)</sup>。

また、保育現場を対象とした上記の調査と並行して、将来保育現場で働くことになる、保育者養成課程に在学中の学生を対象に、紙芝居との関わりの経験に関するアンケート調査を、2010～2011

年に実施した。この調査では、紙芝居について、特に演じ方については大学入学後に学んだ学生は多いが、紙芝居の作り方や歴史について学んだ者の割合は低い傾向にあることがわかった<sup>3)</sup>。このことから、紙芝居の特性を十分理解しないまま保育職に就いている者が多くいるのではないかとということが窺えた。

そこで、前回の現場調査及び学生へのアンケート調査の結果から示唆されたことを踏まえ、本研究では、幼稚園及び保育所を対象としたアンケート調査を基に、保育現場における紙芝居活用状況のより詳細な実態とともに、活用の背景にあると思われる保育者の紙芝居に対する意識について明らかにすることを目的とした。

### 2. 調査概要

#### (1) 調査対象

愛知県下の幼稚園98園、保育園145園、計243園を対象に、1園につきそこで勤務する保育者3名分のアンケート用紙、合計729枚を郵送し、幼稚園60園(保育者167名分)、保育園103園(保育者299名分)、計163園(479名)から有効回答が得られた(回収率65.7%)。

#### (2) 調査方法

1園に対して、そこで保育者として勤務する3名に、それぞれがアンケート用紙に回答してもらうよう依頼した。回答者については、役職の有無等、特にその属性に条件を設けることはしないが、なるべく保育経験年数に差がある3名をランダムに抽出してもらい、回答するよう調査依頼文に記した。

### (3) 調査実施期間

2012年4月中旬～5月上旬

### (4) 調査内容

#### ①保育者の紙芝居に対する関心・知識・理解

保育者の紙芝居への関心や知識、紙芝居の演じ方に関する理解について。

#### ②保育における紙芝居の活用状況

保育の中での紙芝居活用の状況として、活用の頻度、紙芝居の内容、活用の目的、紙芝居を演じる際に対象とする子どもの数の範囲について。さらに、今回の調査で新たに加えた調査内容として、手作り紙芝居の保育への活用、子どもへの紙芝居作りと演じ方の指導について。

具体的な質問項目については、文末に資料として添付したアンケート用紙に示す通りである。

### (5) 分析方法

アンケート調査の設問1(1)～(15)では、保育者の紙芝居に対する関心、歴史などに関する基本となる知識、紙芝居の演じ方に関する理解、紙芝居を演じる時の事前準備、紙芝居をオリジナルな教材として活用することに関して回答してもらった。今回の調査では保育現場での紙芝居に対する保育者の意識についてより詳しく探るために幼稚園、保育園別、さらに保育経験年数別に分類した。質問の回答方式は、5件法を用い、分析については、その結果を得点化して平均点を算出し、幼稚園、保育園別に、保育経験年数0年～5年、6年～10年、11年～15年、16年～20年、21年以上に分類して比較した。

アンケート調査の設問2(4)～(8)では、紙芝居の活用頻度、活用目的などの活用状況について回答してもらった。質問の回答方式は、選択式を用い、分析については、母数に占める選択肢ごとの割合を、幼稚園、保育所別に算出した。

## 3. 結果と考察

### (1) 保育者の紙芝居に対する関心・知識・理解

保育者の紙芝居に対する関心について検討した結果、幼稚園、保育園、保育経験年数に関係なく高い値を示した(図1)。

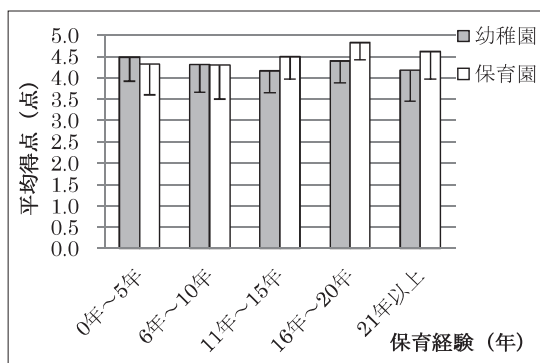


図1. 紙芝居への関心

次に歴史などに関する基本となる知識について検討した結果、紙芝居についての詳しい文献を読む、歴史について知っている、情報の収集については、幼稚園、保育園、保育経験年数に関係なく低い値を示した(図2～図4)。

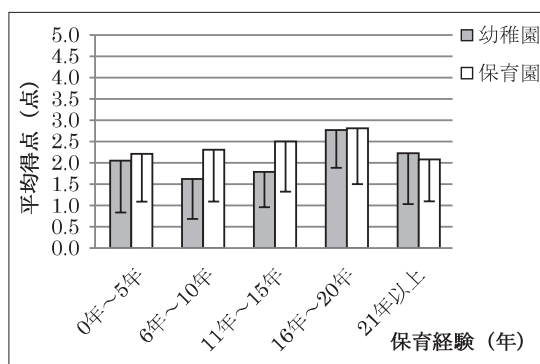


図2. 紙芝居に関する知識 (文献)

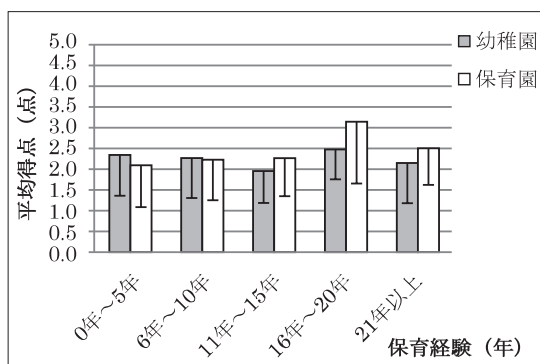


図3. 紙芝居についての情報収集

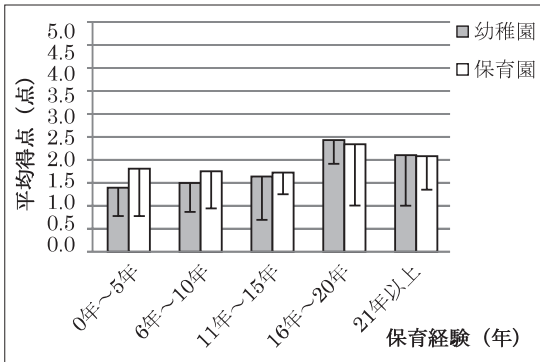


図 4. 紙芝居の歴史

次に紙芝居の演じ方についての理解、保育現場での紙芝居の活用については、図 5. 図 6. に示すとおりであった。

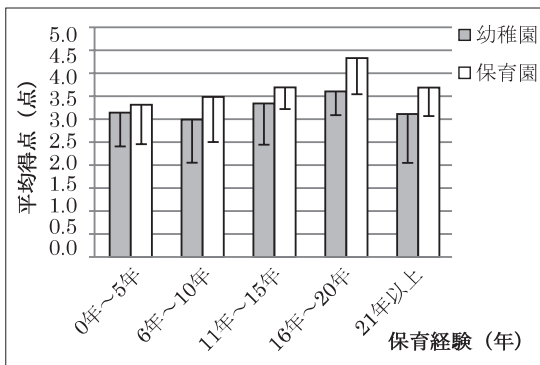


図 5. 紙芝居の演じ方の理解

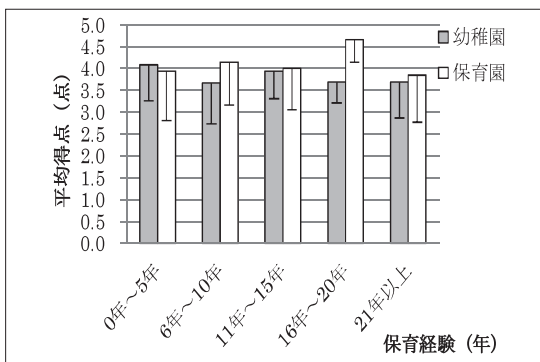


図 6. 保育の中での紙芝居の活用

保育の中で紙芝居を活用することについて、演じ方についての理解は、幼稚園、保育園、保育経験年数に関わらず高い値を示した。そこで、紙芝

居を演じるための事前準備である下読み、声の出し方、間の取り方についての結果について検討した(図 7 - 図 9)。その結果、どの項目も高い値を示し、特に声の出し方、間の取り方についての値が高かったことから、年代問わず紙芝居を演じる際の演じ方にとても気をつけていることがわかった。

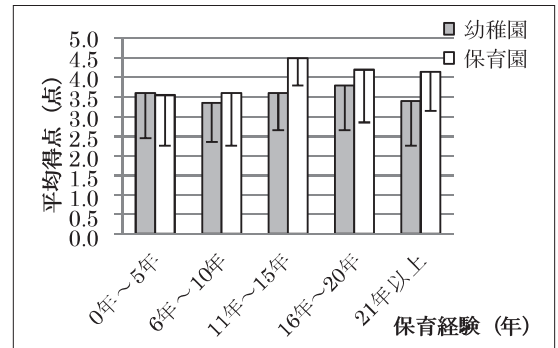


図 7. 紙芝居を下読みする

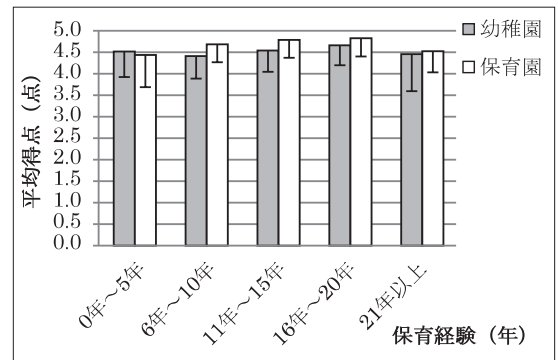


図 8. 声の出し方に気をつける

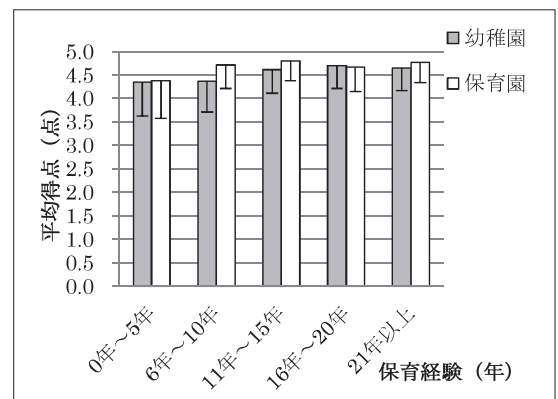


図 9. 間の取り方に気をつける

しかし、紙芝居を演じる時に紙芝居舞台を使用することについては保育園の保育経験年数が16年～20年で平均値をわずかに上回ったものの低い値を示した（図10）。

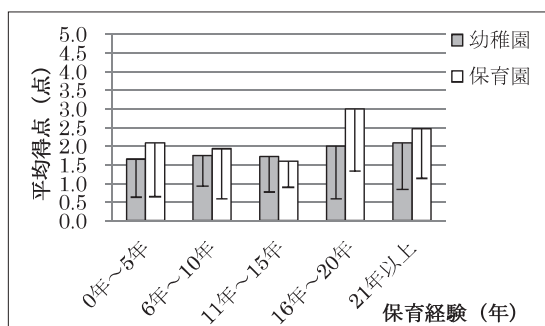


図10. 紙芝居舞台の使用

紙芝居を演じる時は、紙芝居の特性を活かせるように舞台を使用の方が効果的である（右手，2007）と言われているが、使用されていないことがわかった。

これらのことから、どの保育者も紙芝居への関心は高く、保育現場でもよく活用していることが明らかになった。また、紙芝居を演じる時は、下読みをして、声の出し方、間のとり方に気をつけていることもわかった。しかしながら、紙芝居についての知識には乏しく、詳しい文献を読んだり、情報の収集をしたりすることについては関心が薄く、この結果は、紙芝居を演じる時、「紙芝居を効果的に演じることができる」と言われている紙芝居舞台はあまり使用されていないことにも、反映したものとなっている。

## （２）保育における紙芝居の活用状況

先に見た設問 1 (6)の結果でも、保育に紙芝居をよく活用するという回答が多かったが、活用頻度としては、幼稚園、保育園ともに週1～2回というものが最も多かった(図11)。活用する時として最も多いのは、幼稚園、保育園とも「帰りの会」が一番多く、それに続いて、幼稚園では「昼食後」「活動の導入」、保育園では、「活動と活動の間」「活動の導入」が多いという結果であった(図12)。活用する紙芝居の内容として最も多いのは、幼稚園、保育園ともに「物語」が圧倒的に多く、次に「教育的なもの」が続く(図13)。紙芝居活用の目的としては、幼稚園、保育園ともに、「紙芝居そのものを楽しむため」が最も多く、それぞれ回答園の半数以上の割合を占める。それに続き、「活動の目的を達成するための教材として」、「子どもの集中を促すため」が多かった(図14)。紙芝居を演じる時の子どもの数で最も多い単位については、幼稚園、保育園ともに、「クラス単位」が圧倒的に多く、それぞれ回答園の9割程度を占めていた(図15)。

以上の結果は、前回の調査とほとんど同じであったが、今回幼稚園と保育園とを比較してみても、活用状況についてあまり両者の違いは見られないことがわかった。

次に、今回の調査で新たに加えた調査項目である、保育者は保育の中で紙芝居を教具、教材としてどのように取り扱っているのか、その活用の仕方についての結果を授付した。保育者への質問は、紙芝居を自分で作ったことがあるか、紙芝居の作り方を知っているか、保育の中で自作の紙芝居を活用したことがあるか、子どもに紙芝居を作らせたことがあるか、子どもに紙芝居の演じ方を

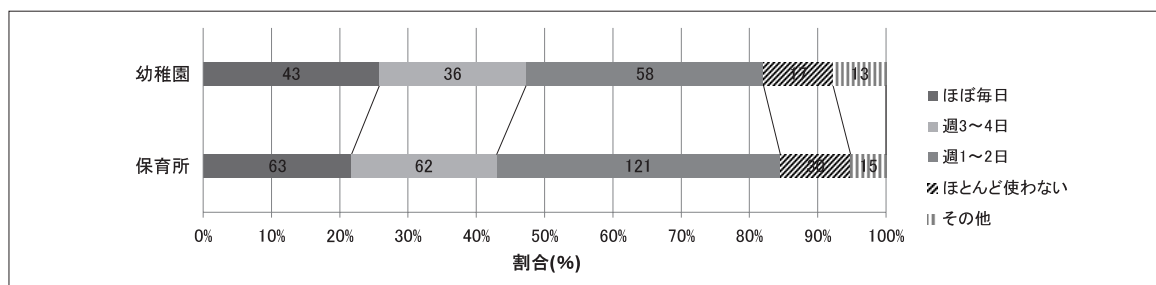


図11. 紙芝居の活用頻度

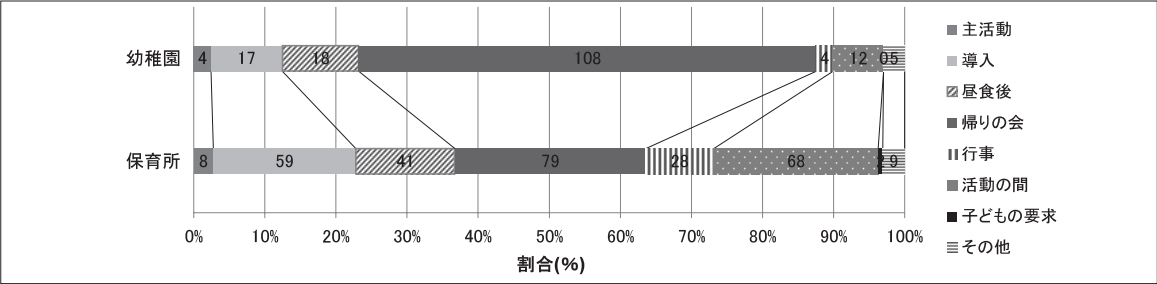


図12. 紙芝居を活用する時

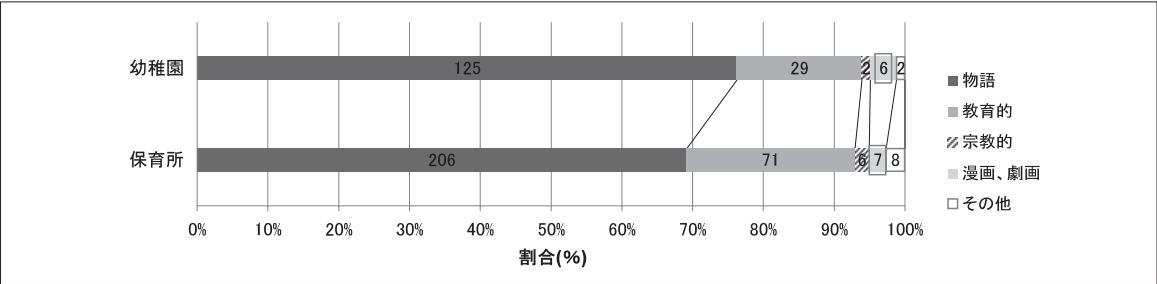


図13. 活用する紙芝居の種類

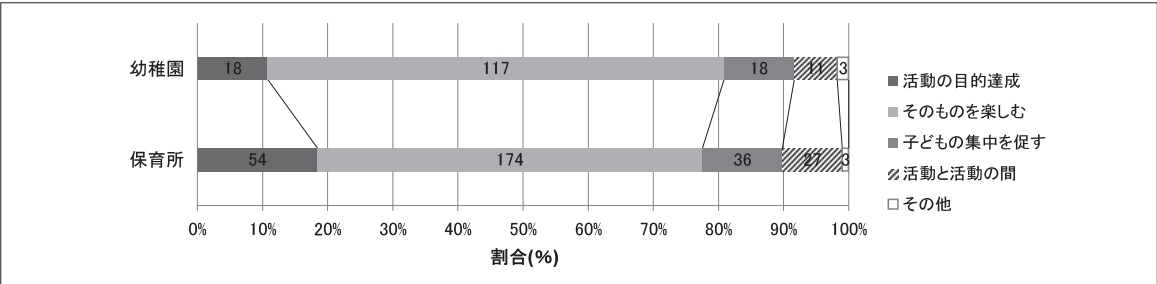


図14. 紙芝居活用目的

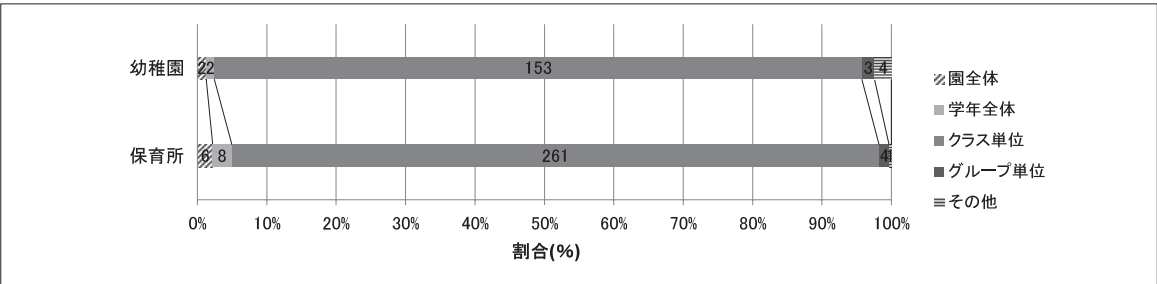


図15. 紙芝居活用時の子どもの数

教えたことがあるかである。結果は、図16.～図20.に示すとおりである。

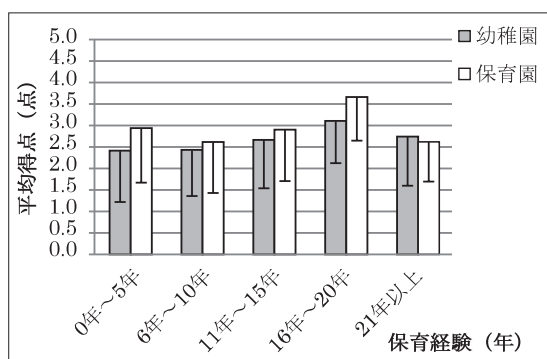


図16. 紙芝居の作り方の理解

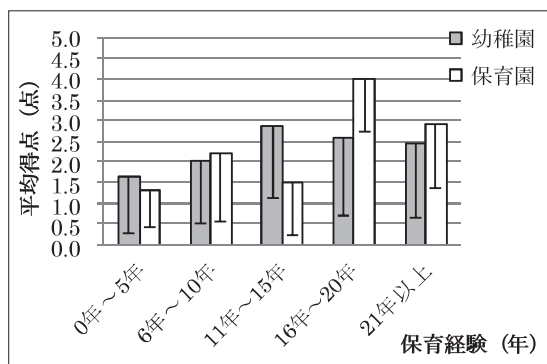


図17. 紙芝居の自作経験

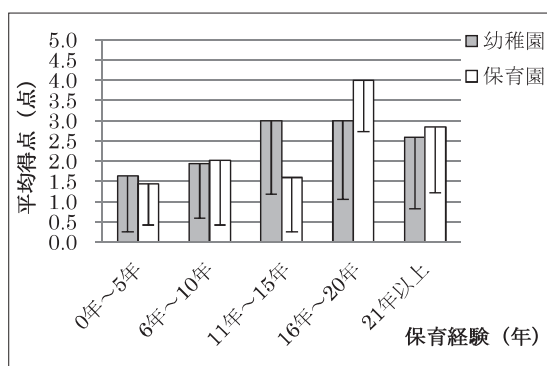


図18. 自作紙芝居の活用

紙芝居の作り方については、幼稚園、保育園、保育経験年数別ともにほぼ半数の保育者が理解していた。紙芝居を自作した経験、自作紙芝居の活用については、幼稚園、保育園ともに保育の経験年数別で見ると、同じ傾向が見られ、幼稚園では、11年～15年目の保育者で高い値を示し、保育園では16年～20年、21年以上で高い値を示した。保育の中で教材（子どもにつくらせたことがある、子どもに演技方の指導をしたことがある）として活用していることについては、幼稚園、保育園ともに低い値を示したが、保育経験が16年～20年、21年以上の値が高くなっていることが特徴的であった。

これらのことから、保育経験が長い保育者は、保育の中で紙芝居を教材、教具として活用すべく、保育者自身が紙芝居を自作し、活用している傾向があることが明らかになった。しかし、図19～図20が示すように子どもへの作成指導、演技方指導はなされていないことがわかった。ここでも

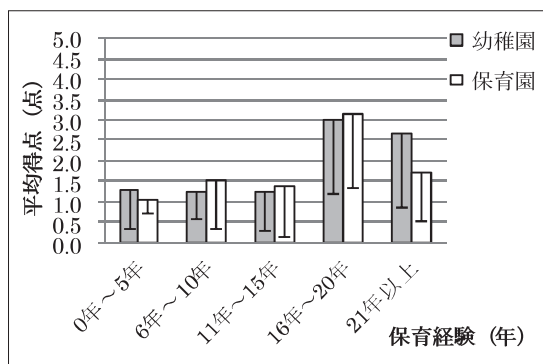


図19. 子どもへの作成指導

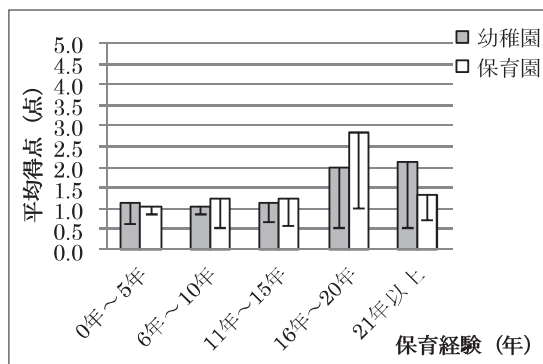


図20. 子どもへの演技方指導



保育経験が16年－20年を示す値が高いことが特徴的ではあるが、全体を見ると、保育の中で紙芝居をオリジナルな教具、教材としては、活用されていないことがわかった。

### おわりに

以上、本アンケート調査の結果から、保育者は紙芝居へ関心を持っており、幼稚園においても保育園においても、保育の中で手軽に活用されていることがわかった。また、保育者は、紙芝居を演じる時、下読みをして演じていることや声の出し方、間のとり方に気をつけて演じていることもわかった。しかしながら、紙芝居の歴史などの知識には乏しく、紙芝居の情報収集についてもあまり行われておらず、合わせて紙芝居舞台を使わずに演じていることがわかった。今回の調査では、紙芝居の演じ方の特徴の一つである「ぬき」についての設問を入れていないため、保育の中では、紙芝居の特性を活かした演じ方がされていないとは言いがたいが、アンケートの回答の様子から、紙芝居の特徴を活かした活用のされ方はされておらず、絵本と同様の扱いがなされている傾向にあることが示唆された。さらには、今回新たな調査事項として、保育の中で紙芝居がオリジナルな教具、教材として活用されているか掲げたが、幼稚園、保育園ともに、保育者が紙芝居を作り、その紙芝居を保育の中で演じて見せたり、子どもに紙芝居を作らせ、演じ方を指導したりするということは、ほとんど行われていなかった。

紙芝居は、紙芝居舞台を使用して演じる人と、聞く人との相互の交流が魅力であり、その相互交流から「お話」に引き込まれていくのである。この原理を保育の中に置き換えて考えると、既成の紙芝居を演じて子どもに見せるという行為ももちろんであるが、子どもの話を聴きながら、保育者がそれをお話に仕立て、子どもの絵を合わせてオ

リジナルな紙芝居を作成し、それを演じて保育者も含めた仲間と見せ合うこと、これこそが保育の中で紙芝居をオリジナルな教具、教材として活用するという事に繋がるのではないかと考える。

子どもに保育の中で紙芝居を作らせるということがほとんどされていない中で、保育経験年数が16年以上については、紙芝居を自作し、子どもに見せる、あるいは、子どもに作らせたことがあり、演じ方の指導をしたことがあると回答した保育者が多かった。保育の中に紙芝居の特性を活かした使い方を浸透させたり、紙芝居をオリジナルな教具教材として、活用できるように導いていくためには、保育養成校で、保育者になる前の学生に関心を持たせることは言うまでもないが、保育経験年数が16年以上のベテランの保育者の資質と力量を発揮してもらえようような援助が必要ではないかと考える。今後の課題としては、ベテランの保育者についてさらに調査を進めていくことも視野に入れて考えていきたい。

### 【注】

- 1) 宮崎二美枝「学校の中の紙芝居 よみがえれ！紙芝居」『新・紙芝居全科—小さな紙芝居の大きな世界』子どもの文化研究所 2007 P.109
- 2) 髙橋久美子・野崎真琴「保育現場における紙芝居の活用状況」『名古屋柳城短期大学研究紀要』No.32 2010
- 3) 髙橋久美子・野崎真琴「保育者養成課程における紙芝居 その2—学生のアンケート調査を通して—」『名古屋柳城短期大学研究紀要』No.33 2011
- 4) 右手和子「紙芝居の上手な演じ方」演じるための5つのポイント 名古屋柳城短期大学フォーラム2006 名古屋柳城短期大学子どもの文化と紙芝居プロジェクト実行委員会

## 資料

## 紙芝居に関する保育者の意識と実践についてのアンケート

ご回答いただける方につきまして、次の項目ごとに該当するものに○印をつけ、( ) 内には数字等をご記入ください。

① 保育経験年数；( ) 年

②性別；女性 / 男性

③担当；( ) 歳児クラス

1. 以下の各質問について5段階評価（5：そうである 4：どちらかというそうである 3：どちらともいえない 2：どちらかというそうではない 1：そうではない）でお答えください。

最も当てはまると思う数字に○をつけてください。

- |                                 |   |   |   |   |   |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|
| (1) 紙芝居に関心がある。                  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (2) 紙芝居に関した詳しい文献を読んだことがある。      | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (3) 紙芝居についての情報収集をしている。          | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (4) 紙芝居の歴史を知っている。               | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (5) 紙芝居の演じ方を理解している。             | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (6) 紙芝居の作り方を知っている。              | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (7) 紙芝居を演じる時は、舞台を使用する。          | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (8) 紙芝居を演じる前に下読みをしている。          | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (9) 紙芝居を演じる時は、声の出し方に気をつけている。    | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (10) 紙芝居を演じる時は、“間”の取り方に気をつけている。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (11) 保育の中で紙芝居をよく活用する。           | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (12) 保育者になってから紙芝居を自分で作ったことがある。  | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (13) 自分で作った紙芝居を保育で活用したことがある。    | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (14) 保育の中で子どもに紙芝居を作らせたことがある。    | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| (15) 保育の中で子どもに紙芝居の演じ方を教えたことがある。 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 以下の各質問について最も当てはまると思うものに○をつけてください。あるいは自由記述でお答えください。その他という項目については具体的にお答えください。

(1) 紙芝居の歴史などについて学んだことがある人はどこで学びましたか。(複数回答可)

1. 小中学校の時    2. 高校の時    3. 短大、大学の時    4. 就職してからの研修会等で  
5. その他( )

(2) 紙芝居の演じ方を学んだことがある人はどこで学びましたか。(複数回答可)

1. 小中学校の時    2. 高校の時    3. 短大、大学の時    4. 就職してからの研修会等で  
5. その他( )

(3) (1)・(2)で4と回答した人は、研修会名、研修内容等具体的に書いてください。(自由記述)

(4) 紙芝居の活用頻度についてお答えください。

1. ほぼ毎日    2. 週3～4日    3. 週1～2日    4. ほとんど使わない  
5. その他( )



- (5) 紙芝居はどのような時に活用しますか。(その他の項目も含め多い順に番号を並べてください。該当しない項目は入れないでください。)
1. 主活動    2. 活動の導入    3. 昼食後    4. 帰りの会    5. 行事    6. 活動と活動の間  
7. 子どもの要望がある時    8. その他( )
- (6) どのような紙芝居をよく活用しますか。(その他の項目も含め多い順に番号を並べてください。該当しない項目は入れないでください。)
1. 物語(昔話等)    2. 教育的なもの(手洗い、歯磨き、交通安全等)  
3. 宗教的なもの(クリスマス等)    4. 漫画、劇画(ディズニー等)  
5. その他( )
- (7) 紙芝居はどのような目的で使いますか。(その他の項目も含め多い順に番号を並べてください。該当しない項目は入れないでください。)
1. 活動の目的を達成するための教材として    2. 紙芝居そのものを楽しむため  
3. 子どもの集中を促すため    4. 活動と活動の間  
5. その他( )
- (8) 紙芝居を演じる時の子どもの数はどのくらいですか。(その他の項目も含め多い順に番号を並べてください。該当しない項目は入れないでください。)
1. 園全体    2. 学年全体    3. クラス単位    4. クラスの中のグループ単位  
5. その他( )
- (9) どのくらいの周期で紙芝居を購入しますか。(その他の項目も含め多い順に番号を並べてください。該当しない項目は入れないでください。)
1. 年間で購入数を決めている    2. 子どもに伝えたいものができた時に購入する  
3. シリーズもの等出版されたら購入する    4. 出版社、業者等に薦められたものを購入する  
5. 古くなったら買い換える  
6. その他( )
- (10) 最近使用した(過去1か月) 主な紙芝居の題名を書いてください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。

## Knowledge and Use of “*Kamishibai*” of Kindergarten Teacher and Nursery Teacher

Nozaki, Makoto\*

Kojima, Chieko\*

Bingushi, Kumiko\*

Mizuochi, Hiroshi\*

本研究は、本学紙芝居プロジェクトが2010年に実施した、幼稚園、保育所（以下；保育現場）における紙芝居の活用状況に関する調査研究から把握あるいは示唆されたこと踏まえ、保育者による紙芝居活用のより詳細を明らかにしようとする継続研究として位置付くものである。前回のアンケート調査結果から、紙芝居がほとんどの保育現場で活用されていることが明らかとなった。しかしながら、その一方で、紙芝居の特性を十分捉えた活用がなされていないのではないかとということが推察された。そこで、本研究は、前回と同様に愛知県下の保育現場に勤める現職保育者を対象にアンケート調査を行い、保育における紙芝居の活用状況とともに、保育者の紙芝居に対する意識について明らかにすることを目的とした。この目的を達成するために、紙芝居に対する意識に関する質問項目別に幼稚園と保育所との比較、保育経験年数による比較、オリジナルな教材としての紙芝居の活用状況、といった視点からも調査・分析を行った。

その結果、ほとんどの保育者は、紙芝居への関心は高く、幼稚園、保育所ともに保育でよく活用されていた。また、紙芝居を演じる際、下読み、声の出し方等に気をつけるが、紙芝居についての情報収集をしていないため、知識は乏しく、紙芝居舞台はあまり使用されていないことが明らかとなった。さらに、保育者が紙芝居を作り、それを保育の中で演じて見せたり、子どもに紙芝居を作らせ、演じ方を指導したりすることは、全体としてはほとんど行われていないことが明らかとなった。以上のことから、紙芝居の特性を活かした活用がなされていない傾向にあることが示唆された。しかしながら、保育経験年数が16年以上の保育者については、他の群との比較において、高い得点を示していることから、この点についてのさらなる調査・分析は、今後の課題としたい。

キーワード：紙芝居の特性 (*Characteristics of Kamishibai*)，活用 (*use*)，保育者 (*Kindergarten Teacher and Nursery Teacher*)